

# 留学生センター通信 第2号

2017年3月●日発行

編集/発行元：東京学芸大学留学生センター International Student Exchange Center, Tokyo Gakugei University  
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 4-1-1 Nukuikita-machi, Koganei-shi, Tokyo, 184-8501 Japan

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~gisec>

## センター長就任挨拶 赤司 英一郎

センター長になるまで、学部や大学院の留学生のほかは、すべて協定校からの交換留学生と思っていました。実際は、そのほかに、日本語日本文化研修生、教員研修生など、さまざまなプログラムで来日した約30か国からの約250名の留学生が、本学で学んでいます。グローバル化した世界を日々受けとめながら、留学生と日本人学生、教員のあいだの橋渡しをすることも、留学生センターの仕事です。センター所属の

教員は、授業以外に、留学生を連れての学校訪問、日本文化のワークショップ、多文化交流カフェ、講演会の開催などを行っています。センター以外の教員の皆さんにも留学生との交流に積極的に係っていただければありがたいと思います。たとえば、講義や演習などに、留学生をもっと誘い込んでいただけないでしょうか。学問に国境はないので、大学の活動の一つひとつが、地域から世界へと開かれたドアになるでしょうから。

## 多文化共修科目の紹介

多文化共修科目は、留学生と日本人学生とが共に学びあい、異文化理解を深める科目として、2015年度より開設されています。2016年度は次の通り行われました。

多文化共修科目A「異文化理解とコミュニケーション」、B「多文化社会とコミュニケーション」では、在日外国人や難民問題、グローバル化と言語教育などのトピックを、学生同士が討論しながら自分の問題として考えていきました。また、朝鮮大学校やブラジル人学校訪問、「ろう文化と手話」のゲストトーク、「ヒューマンライブラリー」などの活動を通して、在日外国人だけでなく、障害者や性的マイノリティの問題なども体験的に学び、最後にグループ発表を行いました。

多文化共修科目C「世界の言語と文化」では、留学生と日本人学生の混在する4つのグループを作り、グループごとに担当の言語圏について調べ、発表を行いました。

多文化共修科目D「世界の民族と文化」は音楽がテーマです。世界の色々な楽器やその演奏方法、子どもの歌と遊びの関係、愛の歌に描かれる歌詞や音楽の特徴、宗教と

音楽の関係など、様々な視点から音楽文化の多様性を探求する授業です。議論を通して、世界の民族の生活や習慣、宗教や教育、ジェンダー、コミュニティや家族など、多岐にわたる文化的側面についても考えていきます。

2017年度は、春学期A(木2)、C(月1)、秋学期B(月2)、D(火3)で行われます。(岡・斎藤・有澤)



## 国際交流・留学生支援の活動

学芸カフェテリアのランチ講座として、春学期「アジア語楽カフェ」「多文化交流カフェ」「海外の学校教育事情」、秋学期「コリアカフェ」「チャイナカフェ」「多文化交流カフェ」が行われ、日本人学生と留学生の日常的な交流の場となりました。「にほんごカフェ」は、日本人学生と留学生の都合のいい時間をマッチングして(週



3コマ程度)、より深い交流の場となりました。また、春のハイキングや、秋の紅葉狩り、各種のパーティーなども開かれました。7月には、山中湖畔で国際交流合宿が行われ、富士の樹海・氷穴の散策など日本の自然を体験し、発表会では9つのグループの興味深い発表が行われました。(岡・許)



## 学校交流・地域連携

6月の公開講座では、「留学生から見た日本語のおもしろさ～世界の日本語・日本語教育事情～」と題して、本学大学院で学ぶタイ、カンボジア、スウェーデンの留学生を講師に迎えて、各国の言葉や文化を紹介してもらいながら、留学生から見た日本語のおもしろさや各国の日本語・日本語教育事情などについて話してもらいました。(岡)

11月9日(水)に計47名の留学生が結城座ワークショップに参加しました。当該のワークショップは、小金井市が平成28年度文化庁文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業の一環として結城座と共催されました。江戸あやつり人形の伝統芸能を留学生によりよく理解してもらうため、ワークショップで講演、ミニ公演と体験学習を行いました。結城座の方のお話では、お人形を地面に垂直に立たせるのは大変難しい技ということです。ワークショップの後、留学生から「人形を自分の手で持って体験できることがよかったです」と思います。」「It is a tremendous opportunity to get a real-life experience and contact with the Japanese culture.」などの感想を寄せられて、大変好評でした。(許)



東京都立大島高校がオリンピック・パラリンピック教育の一環として、2016年11月25日(金)に国際理解講演会を開催することになり、本学の留学生7名と教員1名が招聘されました。講演会では、郷土芸能部による和太鼓演奏による歓迎セレモニーに続いて、留学生が出身国・地域を紹介する分科会がもたれました。1時間の分科会では、7つのグループに分かれ、7名の留学生がそれぞれの出身国・地域(カンボジア、中国、スウェーデン、ガーナ、コロンビア、アメリカ、タイ)について、写真などを見せながら紹介しました。分科会の後は、国際優秀つばき園に認定された、大島高校の椿園を案内していただきました。農林科の生徒が英語で解説してくださり、参加した留学生は椿について多くのことを学びました。最後に、茶道部の生徒によりお茶とお菓子のもてなしを受けながら、大島高校の先生や生徒と楽しく話す時を持ちました。

講演会終了後、大島高校からアンケート結果が送られてきました。多くの生徒が「楽しかった」「多くのことを学んだ」と思ってくれたことがわかりましたが、そのほか「日本に来た理由や経験

などを話してくれて感動した」「文化の違いに驚いたが、それがその国では当たり前で、他の国も文化を知るのもいいなと思った」「日本の文化を私たちが知らねばと思った」などのコメントもあり、国際理解や異文化理解、また自文化理解に少しでも貢献できたのではないかと思います。(島田)



小金井市観光協会より、三鷹市・小金井市・調布市主催「都会(TOKYO)の森 サイクルガイドツアー(Cycling Tour in the Metropolitan City)」のお誘いをいただきました。「外国のみなさんにも地元をもっと知ってもらいたい」という、外国人留学生15名を対象にした新企画です。11月23日(祝)の当日は通常授業日だったのですが、本学からは当初の割当人数を上回る8名の応募がありました。10時から15時まで、東小金井駅から江戸東京たても園、笠森稲荷神社、野川公園などを回り、最終地点の深大寺で解散という行程…あいにくの曇天でしたが、地場野菜や手作りハムのピクニックランチや深大寺境内でのダルマの絵付け体験など、サイクリング以外の楽しみも提供されました。(谷部)

歌舞伎ワークショップ(12月7日)では、吉祥寺を拠点とする劇団前進座の方々に実演と実技指導を行なって頂きました。女形の所作や見得(みえ)の動作、そして刀を使った立ち回りや、「つけ」と呼ばれる効果音や客席からの「大向こう」のかけかたなどについて詳しい解説が行なわれました。後半は参加者への実技指導が行なわれ、紙で作った刀を使った立ち回りの動きを一つ一つ丁寧に教えて頂きました。歌舞伎ならではの独特の身体の使い方や音響効果、観客と役者との関係などについて、参加者は体験を通して学ぶことができました。(有澤)



留学生センター 組織	留学生センター長	教授	赤司 英一郎	
	専任教員	日本語教育部門	教授	岡 智之
			准教授	有澤 知乃
			教授	谷部 弘子
		日本語教育部門	教授	斎藤 純男
			教授	島田 めぐみ
			教授	許 夏玲